

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスあんじゅ		公表日		年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	児発終了後の教室を放デイの学習室として活用したり、運動療育の場として町の体育館を活用させていただきよう計画しています。	児発の方は問題ないが、放デイの方はもう少し広いスペースがあった方が子どもたちも落ち着いてのびのびと過ごせるのではないかな。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	子どもの数に対しては妥当な人員配置は出来ていたと思われませんが、子どもの状態の不安定さが予想される際は、ボランティアの方に協力いただき、見守りをお願いしています。	放デイの方は子供たちの状態が不安定な子が多いため、子どもたちの安全をより守ることに繋がると思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	放課後等デイサービスにおいては、児童の特性に応じた十分な活動スペースの確保が課題となっているため、今後は部屋の使い方の見直しや環境整備を行い、安全で落ち着いて過ごせる環境づくりに取り組んでいきます。	事務所を通して別室へ自由に出入りできる（してしまう）のが気になる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	こまめな掃除と換気を心がけている。教室に広さが足りないと感じる分、運動療育の場や野外活動の場として、町の資源を活用させていただき予定。	活動空間としては、もう少し広さが欲しいところ。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	必要に応じて個別の部屋を使用できるよう配慮しておりますが、長期休暇中は児発と放デイの活動が重なることもあるため、部屋の使い方を工夫しながら、個別対応ができる環境づくりを行っていきたくと考えております。	長期休みなど児発と放デイが重なる時の部屋の使い方は、今後の課題として取り組んでいく。		
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	職員間の情報共有や全体把握に課題があるため、定期的なミーティング時間を確保し、職員全体で情報共有を行う体制づくりに取り組んでいきます。	全体把握ができていない時がある。			

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	保護者向け評価表により意向を把握する機会を、今後は結果を職員間で周知し、意見を踏まえた改善が行えるよう、継続して取り組んでいきたいと考えております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	職員の意見を大切に受け止め、職員間で共有しながら、全員で改善に取り組める体制づくりを進めていきたいと考えております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価については、今後は必要性を踏まえ、評価結果を業務改善に活かせるよう取り組んでいきたいと考えております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	開所前は研修を実施していたが、開所後は時間の都合もあり十分に行えていなかった。今後は無理のない計画を立て、外部研修や内部研修の機会を確保できるよう取り組んでいきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		月曜日の午前中、会議を開催する時間を設け、出来る限り全員参加で検討するようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	独自のチェックリストや日々の行動観察により状況の把握に努めておりますが、今後は他の情報も取り入れながら、より有効なアセスメント方法について検討していきたいと考えております。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			話し合いの場を設け、活動案を考えるようにしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			全員の提案を聞いて、プログラムに取り入れることでいろいろな人の意見が反映され、固定化せずで出来ているように思われます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			児童の状態や利用時間により支援内容にばらつきが生じることがあるため、個々の状況に応じた柔軟な支援計画の見直しと、安定した支援提供ができる体制づくりに努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		支援開始前には時間を取り、その日行われる支援の内容や役割分担について確認するようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		短時間でも時間を作り、振り返りを行うようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		記録を確認し、どのような支援を行い子どもの反応はどうだったのか振り返りをするようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			自立支援、日常生活支援、創作活動、地域交流、余暇の提供。児童の来所時間で出来る時と出来ない時がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	2		いろんな場面で、子どもたちが選択できる機会を設けるようにしています。
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		関係機関との連携は個別に行っているが、十分とは言えないため、今後は地域の関係機関と連絡を取り合いながら、連携した支援が行えるよう取り組んでいきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			日々子どもたちの状態も違うので、園や学校の先生に様子を確認し、小さな変化も把握するように心がけ、職員間で共有するようにしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		これまでの利用先との情報共有は十分ではないため、今後は必要に応じて連絡を取り合い、支援内容の理解を深められるよう取り組んでいきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		未だ当事業所では機会がないが、情報提供できるよう準備を進めておく必要はあると思われます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		開所の折には、地域で長年子どもたちの支援をされている複数の事業所において職員研修をさせていただいた。今後も機会を作り研修を受けられる体制作りを心がけていきます。

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	現在は地域の児童クラブや児童館等との交流の機会が少ないため、今後は行事や活動を通して地域のこどもと関わる機会を作れるよう検討していきたい。	事業所間交流も含め、検討していきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	関係機関との連携機会が十分でないため、今後は情報収集を行い、協議会等への参加や関係機関との連携強化に努めていきます。	協議会の開催の有無を把握できていない。情報収集に努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	現時点では、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を十分に設けることができていない。今後は保護者会や行事等の実施を検討し、無理のない形で交流の機会を作れるよう取り組んでいきたいと思ひます。	
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	現時点では、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を十分に設けることができていない。今後は保護者会や行事等の実施を検討し、無理のない形で交流の機会を作れるよう取り組んでいきたいと思ひます。	

受 者 へ の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	活動内容や予定については随時お知らせしているが、定期的な発信が十分ではないと思われます。今後は通信の発行やホームページ等の活用を行い、継続的に情報を発信できるよう取り組んでいきたいと思いをします。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1	情報伝達においては、口頭だけでなく、記録保持のため文書にて伝達するようにしています。意思疎通や情報伝達が円滑に行えるよう配慮しており、手話を学ぶなどコミュニケーション方法の向上に向けた自己研鑽にも努めています。今後もより良い対応ができるよう取り組んでいきたいと考えております。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	内覧会やあんじゅイベントとして、地域の方をお招きし、子どもたちの制作したものの販売などを通して活動の様子を見ていただけた。地域に根付いた事業所を目指し、今後も続けていきたい。		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	事故防止や緊急時対応等のマニュアルは作成しているが、職員への周知や訓練の実施が十分ではない部分がある。今後は定期的に確認や訓練を行い、緊急時に適切に対応できるよう改善していきたい。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3	安全管理に関する計画や研修について、十分に実施できていない部分がある。今後は安全計画の確認を行い、職員への周知や訓練の機会を増やし、安全に支援が行える体制づくりを進めていきたい。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	安全計画の内容について、保護者への周知が十分ではない部分がある。今後は面談やお便り等を通して取組内容を伝え、家族と連携しながら安全に配慮した支援が行えるよう改善していきたい。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	3	ヒヤリハットについては職員間で口頭共有はできているが、記録として残すことが徹底できていない状況。今後は記録を残すことを習慣化し、振り返りや再発防止に活かせるよう改善していきたい。	情報共有は行っているが、記録として残せていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	虐待防止のため時期を決めて研修を行っておりますが、今後は外部研修も含めて研修機会を広げ、より適切な対応ができるよう取り組んでいきたいと考えております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束に関しては個別支援計画に記載させていただいている。	